



さまざまな競技楽しみ交流

一関地方ふれあいスポーツ大会

一関地方ふれあいスポーツ大会(同実行委員会、市主催)は6月30日、総合体育館で行われました。

昨年度まで旧一関市、旧花泉町、平泉町を対象として行っていたものを両市2町に拡大して初めて行われた大会には、障害者や家族、施設関係者やボランティアなど約600人が参加。徒競走や玉入れ、風船割りなどさまざまな競技を楽しみながら交流し、会場は歓声に包まれていました。



つるされたパンや菓子をくわえて走る「お味はいかが？」

元気に献血200回達成

山目の小野寺マサミさん

山目字立沢の小野寺マサミさん(69)が7月7日、通算200回目となる献血を行いました。献血のできる年齢は70歳までとなっているため、まもなく誕生日を迎える小野寺さんにとっては、これが最後の献血となりました。

当日は県南広域振興局一関支局前で成分献血を行った後、県赤十字血液センターの職員から200回目を記念するグラスが贈呈されました。

小野寺さんは「少しでも良い血液を提供しようと、健康管理にも気をつけてきました。これで最後だと思うと少し寂しいですね」と話していました。



記念品を贈られ笑顔を見せる小野寺さん



「いいものを大切に『もったいない』の心を持って」と語る北野さん

スローな循環型社会を

北野大さん環境講演会

市の合併1周年記念「ふれあいエコ・ゼミナール」は7月6日、一関文化センター大ホールで開かれ、明治大学教授の北野大さんが「地球環境を救う新しいライフスタイルへ」と題し講演しました。

「20世紀の人口の爆発的な増加は、天然資源の大量消費による将来的な資源の枯渇と地球温暖化による気候変動をもたらした。地球温暖化を防ぐために、資源やエネルギーをゆっくり循環させる社会にしていくことが必要。そのためにも一人一人がよい物を大切に長く使うことが求められる」と語る北野さん。ユーモアを交えながらの話に、約700人の来場者は熱心に聞き入っていました。



にこやかに祝いの花束を受け取るコテフさん(右から2人目)

おめでとうございます

千葉コテフさんが満100歳

真柴の特別養護老人ホーム関生園に入所している千葉コテフさんが7月8日、100歳の誕生日を迎えました。家族や入所者、施設職員が見守る中、浅井市長から祝い状や記念品を手渡されると、「ありがとう」とにこやかに応じていました。コテフさんを囲んでの乾杯、くす玉開披などで長寿を祝いました。

コテフさんは城内に生まれ、故恵吉さんと結婚。50歳で夫を亡くした後は、商業で家族を支えました。時代劇が好きで以前は映画を見に行くことも多く、テレビでもっぱら時代劇派だったそうです。

クラブさばきも軽快に

北上川流域交流グラウンドゴルフ大会

6回目を迎えた北上川流域交流グラウンドゴルフ大会は6月20日、川崎運動広場を会場に催されました。市内一関・花泉・大東・千厩・東山・川崎の各地域に加え藤沢町、平泉町、奥州市から合計10チーム364人が参加しました。

「千厩川コース」「北上川コース」「砂鉄川コース」の3ラウンド、24ホールを回り、コースごとに1位から3位までを表彰。参加者たちは、コースを回りながら交流を深め、「ほらもう少し」「大したもんだ」などと声を掛け合い楽しんでいました。



真剣なまなざしでプレーする参加者

もしもの時、命を救え!

川崎中学校で普通救命講習会

川崎中学校で6月27日、3年生38人を対象に「リバータイム」として普通救命講習会が行われました。この講習は、川崎地域では北上川など水辺での活動が多いことから、3年生を対象に毎年開催されています。

一関東消防署川崎分署の千葉救急救命士ら3人が指導に当たり、3時間コースで心肺蘇生法、AED(自動対外式除細動器)操作法、止血や吸引の仕方などを学びました。生徒たちは1年生の時にも受講しているとあってスムーズに実技に当たり、真剣に取り組んでいました。



「1、2、3、4…」心肺蘇生法の実技講習



暑い中花苗の植栽に精を出しました

花壇づくりで地域の輪

花いっぱい運動始まる

サルビア、マリーゴールド、インパチェンス、ペゴニアの花苗5630本が6月23日、各老人クラブなどを通じて川崎地域内の各団体に配布されました。一関二高で栽培され、それぞれの購入申し込みに応じて配布された花は、早速色彩や配置を考慮しながら、道路沿いや各地域の集会施設付近に植栽されました。

これから秋にかけて、今年もきれいな花が地域を飾ってくれることでしょう。



まだまだ現役の走りっぷりです

熱い声援! こぼれる笑顔!

川崎町高齢者スポーツ大会

健康保持や親睦を目的に川崎町高齢者スポーツ大会が7月4日行われ、24クラブの約550人が参加しました。

競技のうち、女子60歳競走と男子100歳競走は川崎運動広場で行われ、選手たちはコース脇に陣取る大応援団の声援を受けながら見事な健脚ぶりを発揮しました。ボール送りや玉入れなど5つの競技は体育センターで行われ、各クラブの息が合った競技ぶりに、会場は熱気に包まれました。